

【第2編 金融 6-44】家族の「総純資産、収支」を把握しよう

(1) 知らないと起きるよくある事象①

○親の資産状況を把握してない。

例①: 親の資産が3億円あるのに

自分に子供ができたからと言って確認もせず、
2000万くらい出る死亡保険を買ってしまう。

例②: 親の資産が殆ど無い状態で、且つ「その日暮らし」

状態に近い収支環境とは知らず、
父親が倒れて介護状態になった時に子から
月々3万円の仕送りをしなければならなくなった。

(2) 知らないと起きるよくある事象②

○子の資産状況を把握してない。

例: 幼少期からかけっぱなしの医療保険、
死亡保険などを子の経済状況などを
確認せず、放置している。

よくある返答で

「妻(夫)に聞きづらい、聞けない」

「親とお金の話をしたことない、しても教えてくれないと思う」
など色々ありますよね。

残念ですが、同情できません。

その現状を改善できるかどうかは「あなた次第」。

「知らない、知ることができない」と言うのなら

それなりの末路が待っています。

(誰のせいでもありません。自分の責任(自己責任)です。)

→あなた次第

＝自分の「心境、状態」をきちんと伝える

「自分」だけ情報を得ようとするしない！

いかに親族であっても相手の立場で見れば、
当たり前だと思いませんか？

(3)前回の続き

⑤:家族の「社会保障、福利厚生」を確認しよう。

- ・②と同じで家族が持っている「保障」を把握しましょう。
- ・家族にも余計な保険を掛けさせないきっかけになります。
- ・親族全体で余計な支出をなくしましょう。
- ・だっていつかは自分の資産なのですから。

⑥:家族の「人生の目標」を認識しよう。

- ・自分の「人生の目標」だけで「家族」は成立していません。
- ・家族が暫定でも良いからどんな目標を持っているかを把握しましょう。

コミュニケーションというのはそう言うところからです。

「話しかけもしない、把握しない=考慮してない、家族を守るいう発言は嘘」
という自覚を持ちましょう。

- ・まさかとは思いますが

「俺(私)はこういう性格だからさ…」とかは

保険をしっかりとしたものに変えたくて

ここまで見て頂いたからはっきり言いますが、「どうしようもないです。」

⑦:自分と家族の「情報共有(家族会議)」をしよう。

- ・自分のことを「きちんと」家族に伝え

家族も「きちんと」自分に伝えた上で

- ・互いに守れること、守りきれないことの

「可動領域」を把握できます。

→話し合いの末には互いに「保険になる」事ができます。

- ・「可動領域」を逸脱した行動や金融契約を排除できます。

(4)①～⑦を踏まえ、不足分を各保険に求めよう!

ここまで来られたら

自分に不足している「期間、金額」などが分かってくるはずです

それらを「保険商品」で解決できるなら求めるだけ。

保険屋さんの余計な保障の追加は聞かなくて結構です。

(だって保険屋さんはあなたの①～⑦を知らないでしょう?)

どうせ時間が経てば、①～⑦は変わってきますので

あくまで「暫定使用できる保険商品」で構成することを

おすすめします。

(5)まとめ

①皆さんどうでしたでしょうか?

「頭では理解できるけど…」なんて言わないでくださいね。

この瞬間まで

知らないままにしたのは?

変えようとしなかったのは?

時間が経てば、解決するだろうと決めたのは?

「あなた」です。

そうしてきたから「保険」の掛け方を間違えるのです。

②伝えたいこと

安部も人間です。

やれない人間関係、出来ない家族状況。

色々あると思いますし、個人的には同情しますが本当に同情だけです。

みなさんが今日までやろうとも出来もしなかった分野かも知れません。

実際に①～⑦やってみただけ、出来なかったでも良いです。

最高パフォーマンスではないけれどそこから「保険」を掛けたなら

少なくとも今掛けている保険よりかはマシになるはずです。